

(一社) 日本家政学会中部支部
第 66 回 (2022 年度) 大会
プログラム

2022 年 9 月 17 日 (土)

椙山女学園大学

【大会当日スケジュール】

12:00 ～ 12:30	受付（発表者は 12:15 まで）	1 階エントランスホール
12:30 ～ 13:10	総会	2 階 206 講義室
13:20 ～ 14:30	一般公開講演会	2 階 206 講義室
14:40 ～ 16:15	研究発表会（口頭発表）	2 階 204, 205 講義室
12:30 ～ 16:15	企業展示	2 階ホワイエ

○参加について

建物入口で検温と消毒をお願いいたします。建物内ではマスクをご着用ください。

当日、発熱症状や体調不良の症状がある方は、参加をお控えください。

発表者で欠席・遅刻をしなければならなくなった方は、当日 11 時までに（それ以後の場合は分かり次第）大会実行委員までお知らせください。（kasei.chubu.66@gmail.com）

○休憩室について

1 階 108 室（RENATA 学生控室）をご利用いただけます。

○発表について

口頭発表はパワーポイントを用いて行います。発表時間は **1 題 15 分（発表 12 分、討論 3 分）** です。発表に使用するデータを USB スティックメモリ等に入れて持参し、**大会当日の 12:00～12:15 に発表者受付を行った後**、発表会場のパソコンに保存して下さい。当日のパソコン環境は Windows10（Microsoft PowerPoint 2016）の予定ですので、保存形式にご留意ください。当日、**資料を配布される場合は各自でご準備下さい。**

一般公開講演会

尊厳 / 生命 / 自由

梶山女学園大学国際コミュニケーション学部教授/一橋大学名誉教授
加藤 泰史 氏

<プロフィール>

加藤泰史（カトウヤスシ）

1956年 名古屋生まれ

1985年に名古屋大学大学院文学研究科を満期退学した後、日本学術振興会特別研究員を2年間務めた。その任期終了直後の1988年4月から南山大学文学部哲学科・一橋大学大学院社会学研究科などを経て、2020年4月から梶山女学園大学に異動した。現在、梶山女学園大学国際コミュニケーション学部表現文化学科教授/一橋大学名誉教授。

専門分野は、哲学/倫理学で、特に近現代ドイツ哲学研究、わけでもカント哲学研究が中心である。近年は応用倫理学にも研究の関心を向けている。2018年から科研費Sで「尊厳」概念の研究プロジェクトを推進している。科研費のHP「<https://kato-yasushi.sugiyama-u.ac.jp/songen/index.html>」を是非ご覧ください。

最近の著作・論文等に関しては、加藤泰史他編『コロナ禍とトリアージを問う』（青弓社、2022年）、加藤泰史/後藤玲子編『尊厳と生存』（法政大学出版局、2022年）、加藤泰史編『スピノザと近代ドイツ』（岩波書店、2022年）、Kant's Concept of Dignity, De Gruyter, Berlin/Boston, 2020等。

講演要旨

- （1）最近様々な仕方で取り上げられている「尊厳死」というコンセプトに隠されている「尊厳」概念の問題を取り上げ、「尊厳」を「社会的地位/身分」として理解することの危険性を析出しようと思います。ここでは暫定的に「絶対的価値」と理解することを提案いたします。
- （2）「コロナ・パンデミック」によって現実化した「コロナ・トリアージ」の問題を取り上げて「人間の尊厳」を尊重するというボン基本法の規範に依拠したドイツの議論を分析した上で、ハーバーマスの議論を批判的に紹介してみたいと思います。
- （3）ハーバーマスの議論との関係で、「尊厳」の問題に内在する困難な問題として、「自由」と「生命」との対立的な関係を析出してこの問題を皆さんと共に考えてみたいと思います。

研究発表プログラム

【口頭発表】 1 題 15 分（発表 12 分，討論 3 分）

【会場・時間】 2 階 204 講義室（14:40 ～ 16:00），205 講義室（14:40 ～ 16:15）

<食物> 204 講義室 14:40 ～ 16:00

座長：西田淑男（東海学園大学）

○-1 微酸性電解水の有効塩素の減退と効果的な使用方法

○岸本満*，浅井ももか*，水野花縄*，元木菜緒*，三輪奈美**，吉田恭一郎**，新正廣**
（*名古屋学芸大，**ホシザキ(株)）

○-2 調理学実習後における学習内容の習得状況

○堀光代*，川島奈都実*，平島円**，磯部由香**
（*岐阜市立女短大，**三重大）

○-3 家庭科における伝統的な食文化学習

SDGs 視点からの発酵食品と伝統野菜の利用
○前田理香*，植田真理子**，平和香子***
（*金沢学院短大，**帝京平成大，***都留文科大）

座長：岸本満（名古屋学芸大学）

○-4 食文化が持続可能な社会構築に果たす役割（第2報）

○山下紗也加，小川宣子（中部大）

○-5 異なる仕込み容器で製造された味噌の品質解析

○井成真由子*，畠田汐音*，市坪美寿紀*，樋口紅葉*，片山宏司**，船越吾郎***，
岩木みさき****，西田淑男*
（*東海学園大，**有限会社 片山商店，***あいち産業科学技術総合センター，****mison）

<被服> 205 講義室 14:40 ～ 16:15

座長：小町谷寿子（名古屋女子大学）

○-6 悪臭がヒトの生理反応に及ぼす影響

○高須衣玖^{*}，長谷博子^{*}，平林由果^{**}（^{*}金城学院大・院，^{**}金城学院大）

○-7 地域資源を活用した繊維製品のアップサイクル

ーパタンナーが仕掛ける産学連携プロジェクトー

○鈴木路乃^{*}，島上祐樹^{**}（^{*}ZINO，^{**}名古屋学芸大）

○-8 マスクの色彩と服装色の関係

○青木朱音^{*}，石原久代^{**}（^{*}椙山女学園大・院，^{**}椙山女学園大）

座長：山縣亮介（名古屋学芸大学）

○-9 年齢によるネックラインデザインの調和度の差異

○加藤千穂，榊原菜月，石原久代（椙山女学園大）

○-10 乳児ダミー及びおんぶ紐を使用したおんぶ体験学習の効果

○西川愛子（愛知教育大）

○-11 19世紀アメリカにおける軽衣料の生活への浸透

○小町谷寿子（名古屋女大）